

未就園児等の把握、支援のためのアウトリーチの 在り方に関する調査研究

愛知県豊橋市における取り組みについて



豊橋市こども若者総合相談支援センター 副センター長 北村 充

※今回の報告内容は本調査研究の委員として報告者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織を代表するものではありません。

豊橋市の概要





豊橋駅前と路面電車



手筒花火



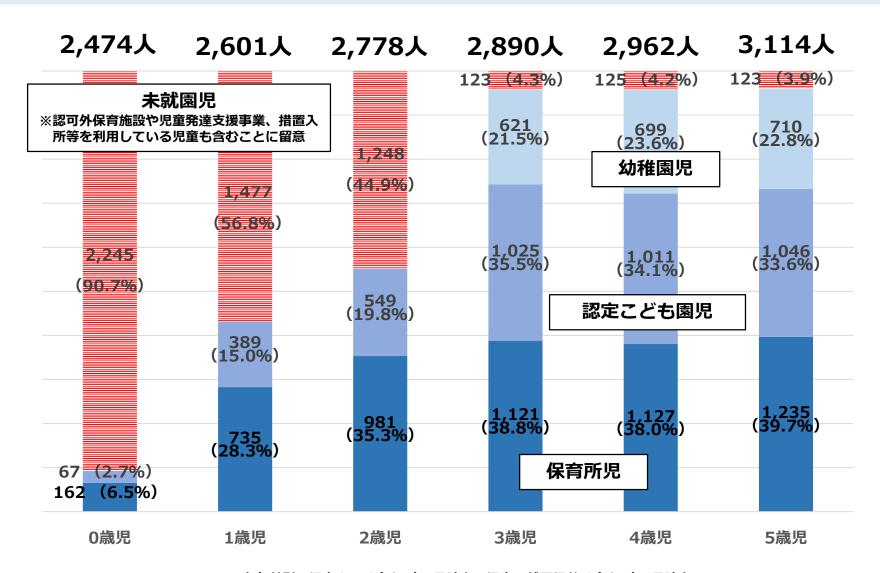
- > 愛知県東部に位置する中核市
- ▶ 人口 約37万人、約16万世帯
- 外国人 約1万8千人、約9千世帯
- ▶ 児童人口(18歳未満) 約5万8千人
- ▶ 面積 約262km²

- **> 保育所41か所、認定こども園23か所**
- 幼稚園19か所
- **> 地域子育て支援拠点事業11か所**
- 市立小学校52校、市立中学校22校
- ▶ 生活保護 (R4.4.1) 1,886世帯 2,283人
- ▶ 児童虐待相談件数 (R3年度) 623件



未就園児の推計(令和4年度)





※各年齢別の児童人口は令和4年4月時点の児童、就園児数は令和4年5月時点

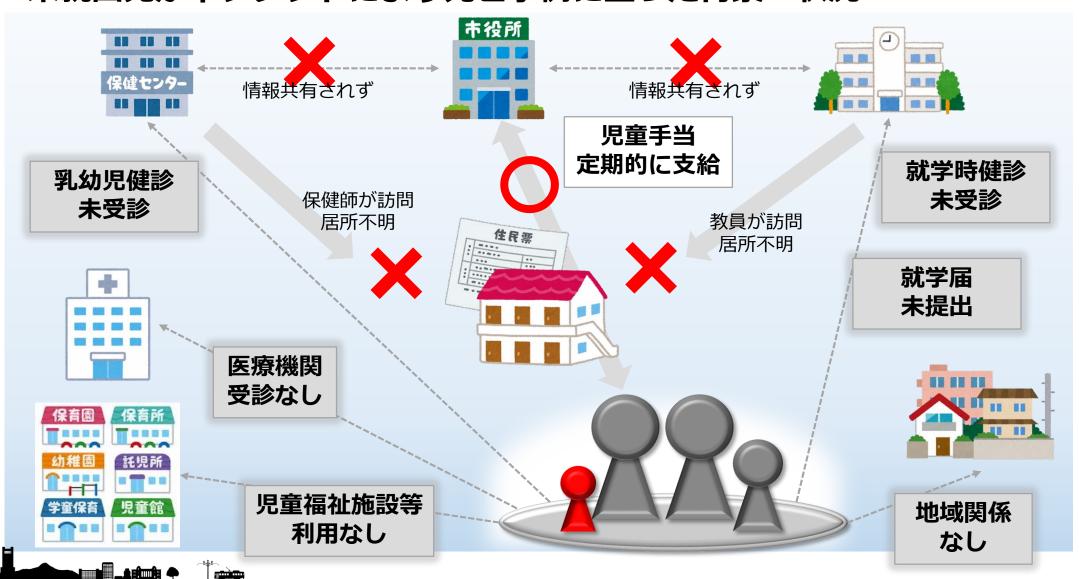
※四捨五入による端数処理の関係により、100%にならない場合がある。



居所不明の未就園児



未就園児がネグレクトにより死亡事例に至った背景・状況



乳幼児健診の実施状況



乳幼児健診(集団健診)の受診率(令和3年度)

4か月児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診
98.2%	98.4%	96.6%
2,494人/2,541人	2,657人/2,699人	3,164人/3,277人

健診未受診への対応

- > 母子保健部門における地区担当の保健師が家庭訪問
- ▶母子保健部門における地区担当ではない、ハイリスク専任の保健師が家庭訪問
- ▶児童福祉部門における要保護児童対策地域協議会事務局の対応



健診未受診への対応





乳幼児健診未受診 情報共有



就学時健診未受診 情報共有





要保護児童対策地域協議会事務局

集約した福祉情報から緊急性・リス クの優先順位等を判断



生活保護受給 有無



児童手当受給 有無



障害手帳取得 有無



医療助成有無 受給歴有無



保育園在籍 有無・園名



児童虐待の疑いをもって対応 出入国在留管理庁への照会、児童相談所・警察との共有

民生委員児童委員活動



市から生まれた赤ちゃん世帯の情報を提供[※]し、祝い品(おしりふき)を持って訪問

※個人情報の提供については審議会に諮問し、特別の理由があるとの答申を受けている。

出生

生後1か月 1か月健診 【<u>医療機</u>関】 生後2か月 全戸訪問 【看護師等】 生後3か月 民生委員 児童委員 訪問

生後4か月 4か月健診 【保健所】



訪問時に渡すおしりふきと 事業の手引き



訪問時の様子 ※一部画像を加工

<民生委員児童委員の声> 訪問先では、

「家族以外の人と今日初めて話をしました」 「もっと話したいの上がって下さい」などの反応があり、民生委員児童委員も喜びを感じるひと時となって

いる。



家庭訪問型子育て支援



NPO団体が取り組む、ボランティアによる家庭訪問型子育 て支援「ホームスタート事業」との連携

- ▶ 保護者からNPO団体への申し込みにより無料で利用できるが、一部は市からの委託
- > NPO団体を要保護児童対策地域協議会の構成機関とし、要支援児童等の情報も共有

特定非営利活動法人NPOまんまによるホームスタート事業実施状況(令和3年度)

利用世帯数:104世帯 訪問回数:788回

利用した子どもの年齢(N=129)

3歳児以上 21.7% 0歳児 46.5% 18.6% 1歳児 13.2% 子ども・子 育て支援に 関わりたい



子育て家庭(支援の受け手)

ホームスタート事業

ボランティア (支援の支え手)



将来はボラ ンティアと して支援し たい

- 地域共生社会の実現に向けた地域づくり (社会とのつながり・生きがいづくり)
- > 「孤育て」の未然防止と虐待予防
- ▶ 0歳~2歳児へのアウトリーチ支援の充実



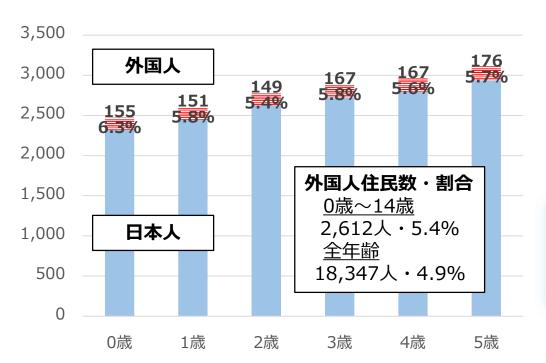
就学前のプレスクール



とよはしハグっこ

外国にルーツのある子どもを対象に、小学校で必要な日本 語や学校での過ごし方を基礎から勉強する機会として実施

- ▶ 多文化共生担当部門が所管し、市からNPO団体(フロンティアとよはし)への委託
- 今年度は50名からの参加申し込みがあり、市内3会場で10月中旬以降、毎週開催



- ※各年齢別の児童人口は令和4年4月時点の児童数
- ※愛知県内の推計人口に占める外国人住民数(令和4年6月末)の割合3.74%





- > 親子で参加
- > ひらがなの読み・書きなどを練習
- > 就園児も未就園児も参加できる

困難を抱える家庭には、幼保と小学校の接 続期における切れ目ない支援が重要



子どもの権利とともに



子どもの権利(条約)の周知啓発を通じた施策展開

- ▶ 令和4年度とよはしインターネットモニター 登録者数400人(男性198人、女性202人)
- ▶ 年齢層 18歳~20歳代85人、30歳代76人、40歳代87人、50歳代81人、60歳以上71人
- ▶ 10月3日~14日 子どもの権利条約、ヤングケアラーの認知度について 回答率87.0%

子どもの権利条約の認知度× 子どもの権利の必要性 N=348		子どもの権利は必要だと思いますか?		
		必要だと思う	必要ないと思う	わからない
「子どもの権利 条約」を知って いますか?	知っている (61)	98.4% (60)	0.0% (0)	1.6% (1)
	聞いたことはある(120)	93.3% (112)	0.8% (1)	5.8% (7)
	知らない(167)	73.7% (123)	4.2% (7)	22.2% (37)

子どもの権利条約の認知度× ヤングケアラーの認知度 N=348		「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか?		
		知っており、意味 を理解している	知ってはいるが、 よくわからない	知らない
「子どもの権利 条約」を知って いますか?	知っている (61)	77.0% (47)	16.4% (10)	6.6% (4)
	聞いたことはある(120)	55.8% (67)	24.2% (29)	20.0% (24)
	知らない (167)	44.9% (75)	22.8% (38)	32.3% (54)

両輪を回すような政策を



- 子育て支援の場にアクセスできない保護者・子どもに対する"攻め"の把握と、 "責め"ない支援、子ども連れが外出しやすい雰囲気・気運・社会環境づくり
- 就園していたとしても登園しない"不登園児"の把握と支援、就園状況と不登校の関係を踏まえた幼保小の連携
- ▶ 官民問わず子育て支援・子どもに関わる事業の増加と支援者の増員

少子高齢化社会・ 人口の減少

主に保護者の経済 的・心理的負担を軽 減し、子どもを安心 して産み育てられる 取り組みの推進



主に子どもの権利を 軸として、子どもが 主体となり、子ども に直接行き届く取り 組みの推進

子育て支援と子ども施策の両輪を回すことが重要

誰もが活躍する社会・ 活躍する人口の増加

